

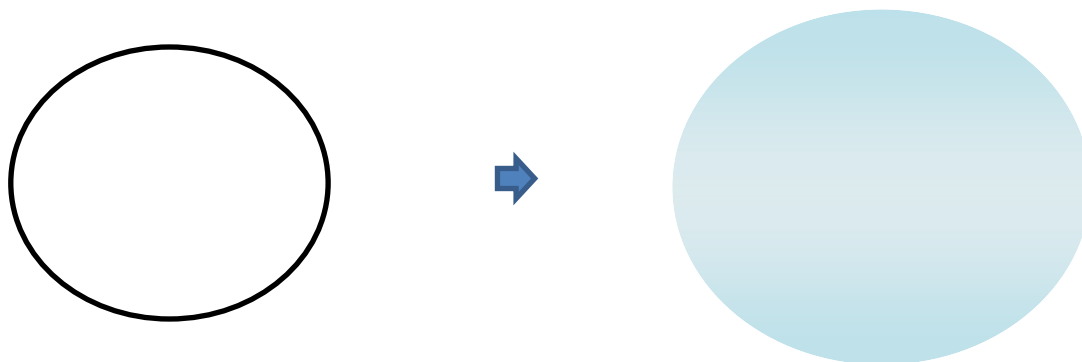
< 日本の夏の風物詩のひとつ、風鈴に金魚を描いてみましょう。 >

風鈴の透けるガラスを描きます。

基本図形 「楕円」 で図形を描きます。「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 「グラデーション」

色 (1) 薄い水色グラデーションの種類 「横」 バリエーション 「左下」

「線の色」 「線なし」 「透過性」 開始値 「40%」、終了値 「60%」



つりひもを描きます。

ひも

「基本図形」 「楕円」 で縦長の図形を描きます。「塗りつぶしの色」 「塗りつぶしなし」

「線の色」 「ゴールド」 「線の種類」 「2.25 pt」



止め具

「基本図形」 「楕円」 小さい丸を描きます。「塗りつぶしの色」 「オレンジ」 「線の色」 「線なし」



つりひも

「線」 「直線」 で風鈴の中のひもを描きます。「線の色」 「ゴールド」



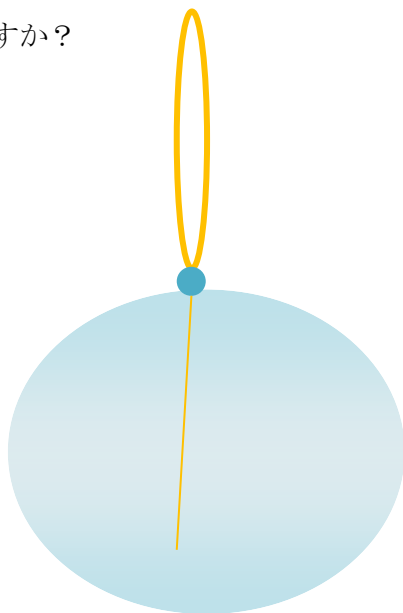
三つの部品をグループ化します



部品を組み合わせます。

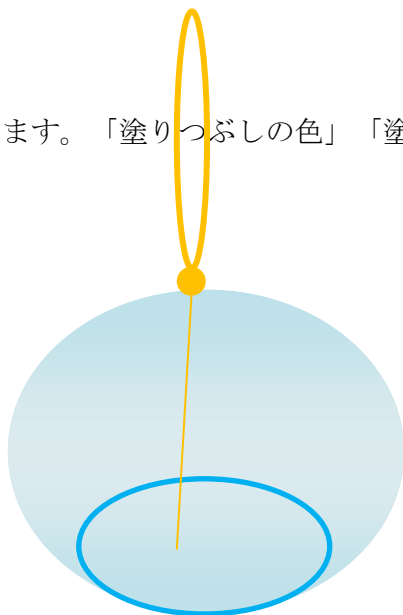
ひもを置きます。風鈴のガラスを重ねます。両方をグループ化します。

風鈴のガラス越しにひもが見えますか？



風鈴の下側を描きます。

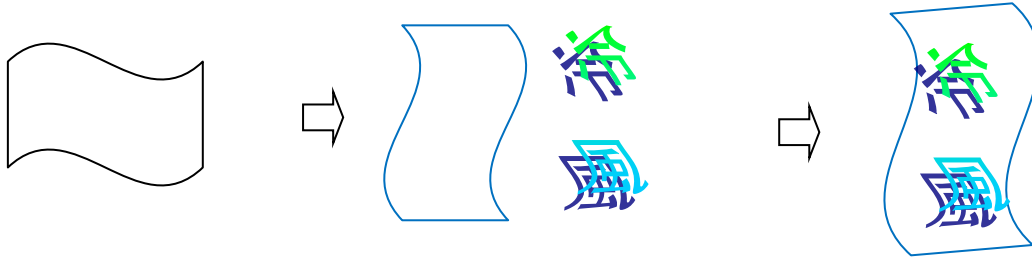
「基本図形」「楕円」で平たい図形を描きます。「塗りつぶしの色」「塗りつぶしなし」「線の色」「青」



風鈴の短冊を描きます。(互換モードで一旦保存、その後互換モードで立ち上げ)

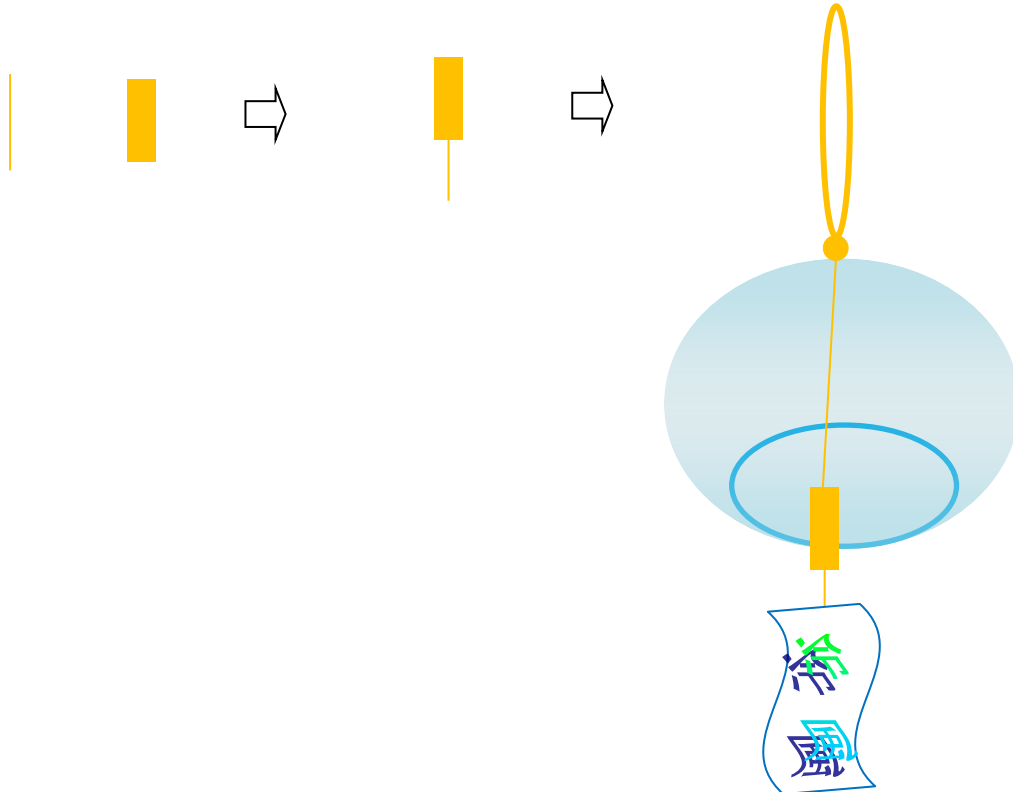
「星とリボン」「大波」で図形を描きます。回転ハンドルで回転させます。「線の色」「青」
「ワードアート」「ワードアートギャラリー」右端の列、下から二番目の「縦書き」を選びます。
「ワードアートテキストの編集」の入力の欄に「涼風」の文字を入力しましょう。
フォントの大きさは「20pt」にします。

短冊の中に文字を重ねましょう。二つの部品をグループ化します。



短冊にひもをつけて風鈴に下げます。

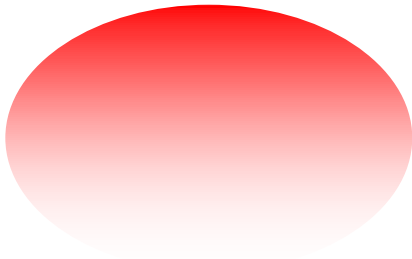
「線」「直線」で中のひもに続けて描きます。「線の色」「オレンジ」
「基本図形」「四角」で小さい四角をつけます。すべて選択してグループ化します。



風鈴に金魚の模様を描きます。

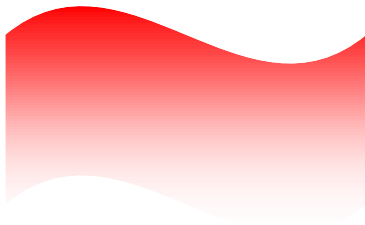
金魚の体

「基本図形」 「楕円」 「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 「グラデーション」 色（1） 赤
明暗のスライダーを右端までドラッグ、グラデーションの種類 「横」 バリエーション 「左上」
「線の色」 「線なし」



金魚の背ビレ

「星とリボン」 「大波」 「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 グラデーション色（1） 「赤」
明暗のスライダーを右端までドラッグ、「透過性」終了値を「55%」までドラッグ
グラデーションの種類「横」 バリエーション「左上」、「図形の調整」 「順序」 「最背面へ移動」 します。
「線の色」 「線なし」



小さいヒレ

「星とリボン」 「大波」 「色」と「透過性」は大きいヒレと同じグラデーションの種類「縦」
バリエーション「右上」 「線の色」 「線なし」



金魚のエラ

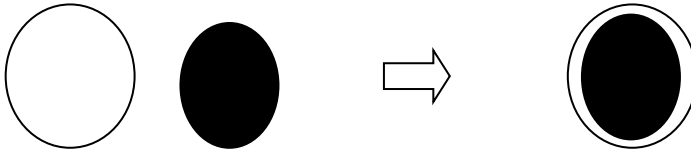
「基本図形」 「月」 「塗りつぶしの色」 「赤」 「線の色」 「線なし」



金魚の目

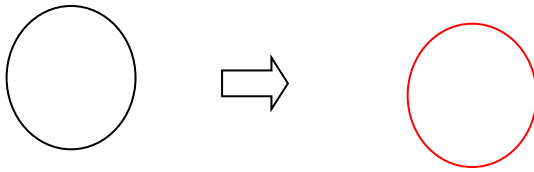
「基本図形」 「楕円」 の大小を描いて重ねます。大きい丸「塗りつぶしの色」 「白」 「線の色」 「線なし」

小さい丸「塗りつぶしの色」 「黒」



金魚の口

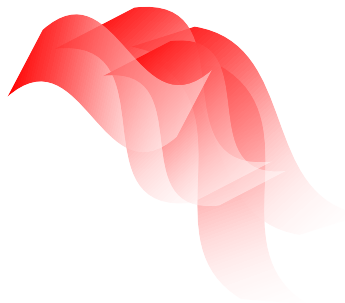
「基本図形」 「楕円」 で小さい丸を描き重ねます。「塗りつぶしの色」 「白」 「線の色」 「赤」



金魚の尾ヒレ

「星とリボン」 「大波」 適宜コピーして増やします。「色」と「透過性」は大きいヒレと同じですが、グラデーションの種類「縦」 バリエーション「左上」にします。

「線の色」 「線なし」 すべて選択し「グループ化」します。



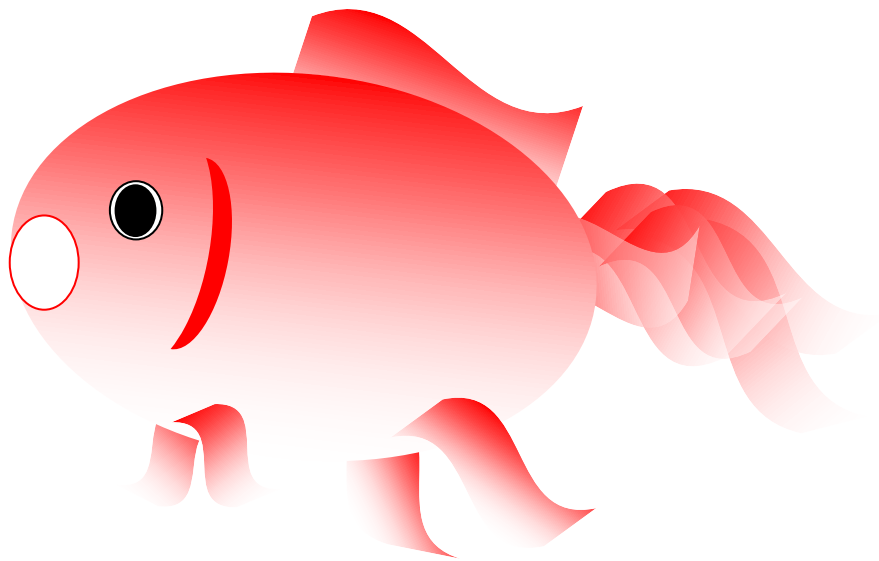
白い背景ではよく分かりませんが、
ひらひらの尾ビレが涼しそうですね。

金魚の部品をまとめます。

体、大小のヒレ、エラ、目、口、尾ビレを選んで重なり順を変えながら配置します。

すべて選択して「グループ化」します。

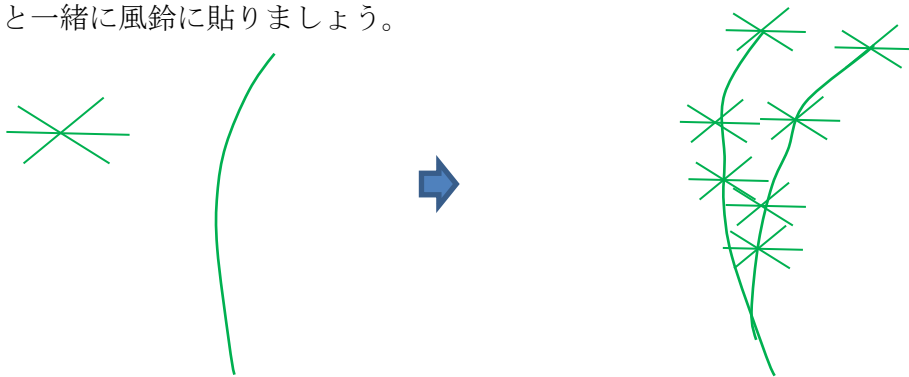
サイズハンドルと「Shift」キーを押しながら、縮小しておきましょう。



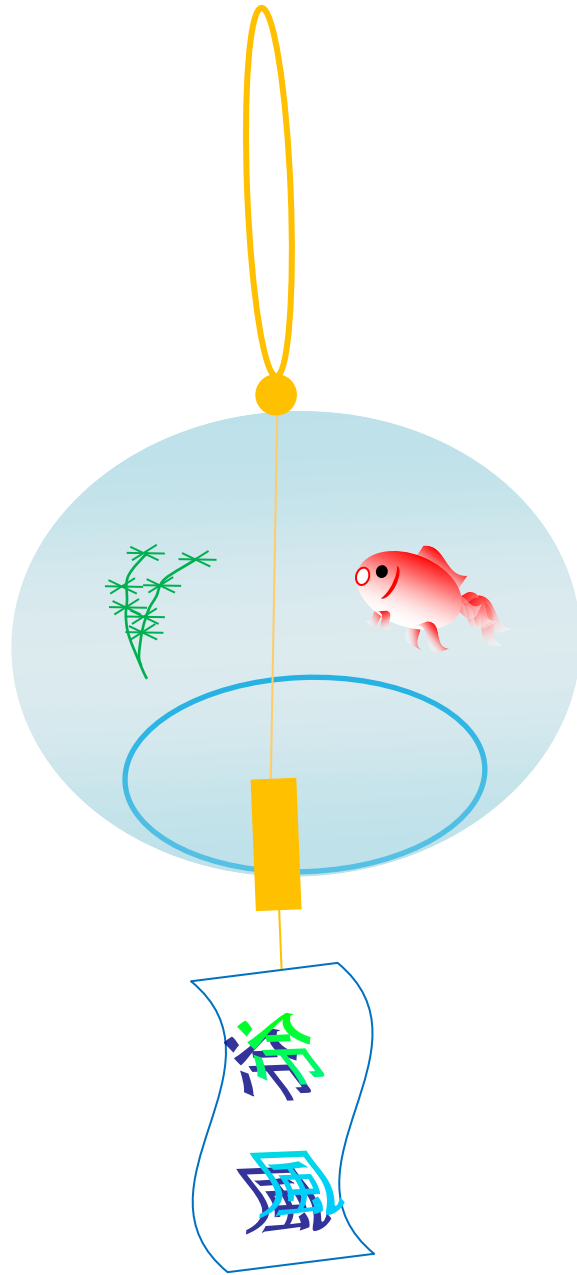
金魚だけでは少し寂しいので水草を描いてつけてみましょう。

「線」「直線」で3本の短い線を交差させます。「曲線」で長い線を描き、図のように並べて「グループ化」します。「線の色」「緑」

金魚と一緒に風鈴に貼りましょう。



風鈴に金魚の絵を重ねて完成です。



金魚を少し大きめにしたいときは、金魚鉢などに入れてみましょう。

透過のやり方は風鈴と同じです。